



# まちかど インタビュー

## 商店や事業所の元気づけに『敬老祝金等』を商品券で支給

6月定例会において「広野町敬老祝金等支給条例の一部を改正する条例」が提案され、これまで現金で支給されていた敬老祝金および特別敬老祝金を有価証券、つまり商品券で支給できるようにしました。

これについては、町が高齢者の福祉の増進と町の振興に寄与することを目的に今年度は町商工会の商品券による支給を試みるものです。そこで今回は、敬老祝金等の商品券での支給について、支給対象となる方に、ご意見・ご感想を伺いました。



佐藤安子さん・孫の遥香ちゃん  
下北迫・火の口

毎年、敬老会で記念品や祝金をいただき、ありがたいことだと感謝しています。

ただ、今年は祝金が現金ではなく、商品券で支給されるといふことにより一抹の寂しさを感じています。高齢になると「懐の温かさ」は現



敬老会で支給される「ひろの商品券」

金を持つ喜びです。

2歳の孫もお金を覚え、1000円、500円と小遣いをあげると喜びます。

はじめての試みなので良し悪しの判断はできませんが、商品券をあげたら「こんな紙いらない」と言われるのではないかと思いつつ、ありがたいが半減したような感じでした。



北郷トミノさん  
上浅見川・南山

これまで、祝金をいただくたびに「広野町の税金から祝金としていただくわけだから、広野町だけで使える方法をとれば良いの」と考えていました。

今年やっと祝金が商品券で支給されると聞き、とても良いことだと思っています。

商品券でも価値は同じですし、町のお金が町外に流れるのを防ぐこともできます。

これにより、少しでも広野町内の商店や事業所が元気づけば良いと思います。

インタビュー 塩 史子



駅前通り商店街（下北迫・折返）

## 編集後記

岩手宮城内陸地震、小名浜漁船の沈没事故と痛ましい災害が起こりましたが、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

当町においても地震津波ハザードマップが各戸に配布されましたが、よくこれを理解し、被害を最小限にする心構えを恒常的に認識する必要があります。あると思います。

私たち議員も災害に強い町づくりに進まなければと痛切に感じる出来事でした。

(渡邊)

## 広報委員会

- 議長 坂本 紀一
- 委員長 中津 伸一
- 副委員長 渡邊 正俊
- 委員 鈴木 紀昭
- 委員 塩 史子
- 委員 鈴木 正範

次の定例会は9月です